

「ことばなる神が来られた」

(ヨハネ1:1-13)

一、「ことば」とは

1章1節に「初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」とあります。これはいったいどういう意味なのでしょう。人として生まれられる前のキリストを指していることは分かるのですが、ならばなぜ、「キリスト」と書かなかつたのかという疑問が浮かびます。「ことば」と訳された箇所は、原文には「ロゴス」と書かれています。「ロゴス」には、日常的に使う「ことば」の他に、「理性」の意味もあります。ではヨハネは、「初めに理性があった。理性は神とともにあった。理性は神であった」と言おうとしたのでしょうか。ヨハネが、キリストの福音を哲学的に解き明かそうとしたとは考えられません。可能性として考えられるのは、創世記を意識していることです。ヨハネの福音書の「初めに」という出だしは、創世記1章1節の、「七十人訳」という旧約聖書のギリシア語訳の出だしと、まったく同じです。創世記1章1節は、「存じのよめに初めに神が天と地を創造された。」です。その「はじめに」と、ヨハネの福音書の「初めに」がまったく同じことばなの

です。と言うことは、ヨハネは、創世記を思いつつ書き始めた可能性がります。創世記1章は、神がことばをもって天と地を創造されたことを語っています(創世記1:3、6、7、9)。そうしますと、ヨハネの福音書1章1節の「初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」の「ことば」は、神の分身のような意味合いになります。それこそは、人として生まれられる前のキリストです。

二、「この方」の恵み

2節をご覧ください。「この方は、初めに神とともにおられた。」とあります。2節のおもしろいところは、1節の2文目にある「ことばは神とともにあった」を繰り返して語っているところ。強調するためなのでしょう。続いて、3節を見てまいります。まずは、1文目です。「すべてのものは、この方によって造られた。」とあります。この文も、創世記1章に対応しています。神はことばを発して、天地の万物を造られたからです。続いて、3節の2文目をご覧ください。「造られたもので、この方によらずにできたものは一つもなかった。」とあります。1文目と同じことが語られています。強調しているのかも知れませんが、4節をご覧ください。この「この方」にはいのちがあった。このいのちは人の光であった。」とありま

す。新共同訳以外はみな「このいのちは人の光であった」になっているのです。が、やや意味を受け取りにくいかと思えます。新共同訳は次のように訳出しています。「言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。」と。言が人間を照らす、すなわちキリストが人間を照らすことになって、見えなかったものが見えるようになる、と受け取ったらいかがでしょうか。5節を見てまいります。「光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。」とあります。「闇」とは、この世です。神不在の世界です。神不在の世界は、光なるキリストに打ち勝つことはできません。と、このように訳出しているのは口語訳、新改訳、フランススコ会訳、聖書協会共同訳です。ですがもう一つ、「これを理解しなかった」という訳もありまして、こちらは文語訳と新共同訳です。「理解しなかった」という訳では、光なるキリストが世に來られたのに、闇は、すなわちこの世という神不在の世界は光なるキリストを理解しなかったという意味になります。

三、「ことばなる神が来られた」

この「ことばなるお方は、預言者たちを通して語られたとおりに、ご自分の民イスラエルに來られました。が受け入れられませんでした。11節です。「この方はご自分のところに來られたのに、

ご自分の民はこの方を受け入れなかった。」とあります。ユダヤ人はイエス・キリストを十字架刑に追いやるよう働きかけ、人となられた神を殺してしまいました。ですが、この方を受け入れた人たちがいました。主イエスの弟子たちを始め、その後はユダヤ人と異邦人の区別なく、主イエス・キリストを信じた人々です。その人々には「神の子ども」となる特権が与えられました。12節に「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。」とあります。神の子どもとなるとは、実に大きな特権です。その、神の恵みを私共にもたらしてください。ことばなる神が、私たちのところにやってきました。共に住んでくださったのです。14節の1文目に、「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。」とあります。「私たち」とは、だれでしょうか。ヨハネが語る場所の「私たち」です。すなわち主イエス・キリストを信じ、集まって礼拝を献げている教会です。そして、「住まわれた」の元のことばの意味は、「テントに住む」です。かつて神はモーセに幕屋を造るように指示されました。主がモーセと会見し、イスラエルの民と会われるためです。そのように、キリストは私たちの間に住まわれたのです。永遠なるお方が、私たちの間に仮住まいをしておられる、という意味です。